

ベストセラー

—— 図書館における選書との関係 ——

菅原春雄

I

図書館における選書は、その図書館における取書方針と取書計画に基づいて行われ、具体的選書にあたっては、現物による直接評価（ヘインズの一般図書評価基準を参考に）と間接評価すなわち、新聞、雑誌に書評、あるいは、各機関による推薦、例えば、厚生省の中央児童福祉審議会推薦図書・日本図書館協会選定図書・全国学校図書館協議会選定図書等、また、各種文学の受賞作品や各種目録類による新刊情報で選書する。今頃毎年新刊書が年4万点以上出版されている。各図書館ではこうした出版された図書から、選書し、利用者のニーズに答えなければならない。

ところで、何故選書しなければならないか考えてみよう。まず第1に予算の制約が考えられる。各々の図書館では一定の資料購入費なる予算がある。

選書は当然予算の範囲内で、良書適書を選択し購入しなければならない。第2にあげるとすれば、第1の予算が充分あっても、それを処理する図書館専門職員がいなければならない。今日職員の増員は認められず、わずかな職員で処理しなければならない。第3に、1、2が解決したとしても保管スペースの問題がある。これらの点を考慮し選書しなければならないことは当然と言えよう。

II

ここでは、選書にあたって間接評価としてのベストセラーを考えてみたい。最初に述べ

たように、ベストセラーも間接評価として各図書館では、選書ツールとして参考をしている。しかし必ずしもベストセラーが良書、適書と言えるか問題である。

公共図書館ではベストセラーがよくリクエストされ、利用率も高い。さて、ベストセラー、ベストセラーと言われているが、その定義、歴史をみてみよう。

ベストセラー (Best Seller) とは、角川の図書館用語辞典によれば、「新しく発売された書籍のうち、ある一定の期間に良好な売れ行きを示したもの」と言う。通常は10位までをリストとして発表する。ベストセラーのはじまりを見ると、アメリカで1895年、月刊文芸誌「Bookman」がアメリカ19都市の小売書店で最も売れた6冊の新刊書リストを掲載したが、その最初と言う。同誌は1897年「ベストセリングブックス」の全国調査をはじめて発表し、また1903年頃、毎月とりあげる本6冊とし、このリストを「6冊のベストセラーズ」と称したのが、ベストセラーズのはじまりらしい。日本ではベストセラーの用語を用いたのは、1946年5月19日号の「週刊朝日」である。近代出版史上では、明治初期に福沢諭吉の「学問のすすめ」や徳富蘆花の「不如帰」はその売れ行きから見て、すでに最高の国民的ベストセラーと言うべきであった。

III

ここでは昭和38年からベストセラーの変遷を見て行く。

1) 昭和30年代

経済が復興するなかで、昭和31年の「経済白書」は「もはや戦後ではない」と記した。また週刊誌の時代がはじまる。第1回「文学界」新人賞受賞作品「太陽の季節」が芥川賞をとり、石原慎太郎がデビューした。カッコイイ慎太郎が文壇および読者に与えた衝撃は大きかった。すぐ映画化され、弟の裕次郎もデビュー「太陽族」が生れた時期でもあった。また昭和34年、清水幾太郎氏が岩波新書で

「論文の書き方」を出版した。岩波新書戦後40年間におけるロングベストセラーでもあり100万部以上売れ、まさにミリオンセラーとも言えるもの。これは何故か、これはとくに学生等学校また大学でレポートないし、論文を課題として出されるが、どう書いていいかわからない、それで身近なこの本にたよったのではないかと想像する。

年度	順位	著者	書名	出版社
昭和38年 (1963)	1	占部都美著	危ない会社 (カッパ・ビジネス)	光文社
	2	佐藤得二著	女のいくさ	二見書房
	3	山岡荘八著	徳川家康 1~19	講談社
	4	井上 清著	岩波新書 日本の歴史	岩波書店
	5		世界の文学16 罪と罰	中央公論社
	6	猪木正道著	物理学入門 (カッパ・ブックス)	光文社
	7	ジョイ・アダムソン著 ／藤原英司訳	わたしのエルザ	文藝春秋新社
	8	郡司利男著	国語笑字典 (カッパ・ブックス)	光文社
	9	岡 潔著	春宵十話	毎日新聞社
	10	湯川秀樹著	岩波新書 本の中の世界	岩波書店
昭和39年 (1964)	1	河野実／大島みち子著	愛と死をみつめて	大和書房
	2	谷崎潤一郎 ／川端康成他編	日本の文学 1~11	中央公論社
	3	山田風太郎著	山田風太郎忍法全集 1~11	講談社
	4	阿部知二／伊藤整他編	豪華版世界文学全集 1~5	河出書房新社
	5	大島みち子著	若いいのちの日記	大和書房
	6	山岡荘八著	徳川家康 1~21	講談社
	7	小学館編	少年少女世界の名作全集 1-3	小学館
	8	三鬼陽之助著	悲劇の経営者 (カッパ・ビジネス)	光文社
	9	大宅壮一著	炎は流れる 1~4	文藝春秋新社
	10	柴田 翔著	されどわれらが日々	文藝春秋新社

2 昭和40年代

高度経済成長で「昭和元禄」・全集ブームが
おこり景気はよかった。テレビ時代の本格
化・テレビとの連動で「氷点」「天と地」など
のベストセラーがつけられる。カッパブック
スが頂点に立った時期でもあった。「頭の体
操」が創造性のあるパズルとしてブームにな
った。しかし、オイルショックで低成長期に
入る。それを「日本沈没」が象徴している。

また梅棹忠夫氏が岩波新書で「知的生産の

技術」を出版し、これも先の「論文の書き方」
と同様岩波新書戦後40年間における二大ロン
グセラーである。「知的生産の技術」は学校教
育で学び方教育を教ってこなかった人々にや
さしく、文献の収集・整理・活用の仕方をわ
かりやすく説明しているので全国民的教育書
として愛読されている。まさに今日の図書館
利用教育であり、その必要性が増しているこ
とを示している。

年度	順位	著者	書名	出版社
昭和40年 (1965)	1	井上光貞／他著	日本の歴史 1～10	中央公論社
	2	大松博文著	なせばなる (ハックス)	講談社
	3	岡村昭彦著	南ヴェトナム戦争従軍記(岩波新書)	岩波書店
	4	大松博文著	おれについてこい (ハックス)	講談社
	5	池田大作著	人間革命 1	聖教新聞社
	6	後藤 弘著	バランスシート (カッパ・)	光文社
	7	大江健三郎著	ヒロシマ・ノート(岩波新書)	岩波書店
	8	山崎豊子著	白い巨塔	新潮社
	9	諸星 龍著	三分間スピーチ (カッパ・)	光文社
	10	佐伯浩子著	わが愛を星に祈りて(銀河選書)	大和書房
昭和41年 (1966)	1	三浦綾子著	氷点	朝日新聞社
	2	小泉信三著	海軍主計大尉小泉信吉	文藝春秋
	3	阿川弘之著	山本五十六	新潮社
	4		吉川英治全集第1回 三国志 I	講談社
	5	池田大作著	人間革命 2	聖教新聞社
	6	五味康祐著	五味マージャン教室 (カッパ・)	光文社
	7		戦争と平和 1	河出書房新社
	8	岡 潔／小林秀雄著	対話・人間の建設	新潮社
	9	扇谷正造著	私をささえた一言	青春出版社
	10	林 謙一著	おはなはん	文藝春秋
昭和42年 (1967)	1	多湖 輝著	頭の体操 第1集 (カッパ・)	光文社
	2	有吉佐和子著	華岡青洲の妻	新潮社
	3	多湖 輝著	頭の体操 第2集 (カッパ・)	光文社
	4	岩田一男著	英単語記憶術 (カッパ・)	光文社
	5	宮崎康平著	まぼろしの邪馬台国	講談社

	6		ベートーヴェン 1	河出書房新社
	7	多湖 輝著	頭の体操 第3集 (カッパ・ブックス)	光文社
	8	竹村健一著	マクルーハンの世界	講談社
	9	吉屋信子著	徳川の夫人たち	朝日新聞社
	10	野末陳平著	姓名判断 (カッパ・ブックス)	光文社
昭和43年 (1968)	1	北 杜夫著	とくとるマンボウ青春期	中央公論社
	2	佐賀 潜著	民法入門 (カッパ・ブックス)	光文社
	3	島山芳雄著	こんな幹部は辞表をかけ	日本能率協会
	4	司馬遼太郎著	竜馬がゆく 1~5	文藝春秋
	5	佐賀 潜著	刑法入門 (カッパ・ブックス)	光文社
	6	御木徳近著	愛 愛する愛と 愛 愛される愛	ベストセラーズ
	7	吉岡 力著	歴史パズル (カッパ・ブックス)	光文社
	8	有吉佐和子著	不信のとき	新潮社
	9	佐賀 潜著	労働法入門 (カッパ・ブックス)	光文社
	10	佐賀 潜著	道路交通法入門 (カッパ・ブックス)	光文社
昭和44年 (1969)	1	海音寺潮五郎著	天と地と	朝日新聞社
	2	羽仁五郎著	都市の論理	勁草書房
	3	庄司 薫著	赤頭巾ちゃん気をつけて	中央公論社
	4	梅棹忠夫著	岩波新書 知的生産の技術	岩波書店
	5	御木徳近著	大もの小もの	読売新聞社
	6	北 杜夫著	さびしい王様	新潮社
	7	エドワード・デボノ著 ／白井実訳	水平思考の世界	講談社
	8	樋口健治著	初歩・自動車工学 (カッパ・ブックス)	光文社
	9	河崎一郎著	素顔の日本	二見書房
	10	P.F. ドラッカー著 ／林雄二郎訳	断絶の時代	ダイヤモンド社
昭和45年 (1970)	1	塩月弥栄子著	冠婚葬祭入門 (カッパ・ホームズ)	光文社
	2	曾野綾子著	誰のために愛するか	青春出版社
	3	立原正秋著	冬の旅 (上・下)	新潮社
	4	石原慎太郎著	スパルタ教育 (カッパ・ホームズ)	光文社
	5	藤原弘達著	創価学会を斬る	日新報道
	6	高田好胤著	心	徳間書店
	7	塩月弥栄子著	続・冠婚葬祭入門 (カッパ・ホームズ)	光文社
	8	花登 篋著	銭の花 1~3	講談社
	9	大門一樹著	原価の秘密(三一新書)	三一書房
	10	清岡卓行著	アカシヤの大連	講談社

昭和46年 (1971)	1	イザヤ・ベンダサン著	日本人とユダヤ人	山本書店
	2	高野悦子著	二十歳の原点	新潮社
	3	E.シーガル著 ／阪倉章訳	ラブ・ストーリィ	角川書店
	4	北山 修著	戦争を知らない子供たち	ブロンズ社
	5	塩月弥栄子著	冠婚葬祭入門 (カッパ・)	光文社
	6	塩月弥栄子著	続・冠婚葬祭入門 (カッパ・)	光文社
	7	北山 修著	さすらいびとの子守唄	角川書店
	8	御木徳近著	青春の道	読売新聞社
	9	曾野綾子著	誰のために愛するか	青春出版社
	10	柴田 翔著	立ち尽す明日	新潮社
昭和47年 (1972)	1	有吉佐和子著	恍惚の人	新潮社
	2	田中角栄著	日本列島改造論	日刊工業新聞社
	3	司馬遼太郎著	坂の上の雲 5・6	文藝春秋
	4	浜尾 実著	女の子の躰け方	光文社
	5	羽仁 進著	放任主義	光文社
	6	高野悦子著	二十歳の原点	新潮社
	7	松原泰道著	般若心経入門	祥伝社
	8	小田 実著	世直しの倫理と論理 (上・下)	岩波書店
	9	NHK企画構成	日本史探訪	角川書店
	10	庄司 薫著	狼なんかこわくない	中央口論社
昭和48年 (1973)	1	小松左京著	日本沈没 (上・下)	光文社
	2	遠藤周作著	ぐうたら人間学	講談社
	3	渡辺 正著	にんにく健康法	光文社
	4	山崎豊子著	華麗なる一族 (上・中・下)	新潮社
	5	司馬遼太郎著	国盗り物語 (前・後)	新潮社
	6	有吉佐和子著	恍惚の人	新潮社
	7	糸山英太郎著	怪物商法	ベストセラーズ
	8	遠藤周作著	ぐうたら愛情学	講談社
	9	遠藤周作著	ぐうたら交友学	講談社
	10	渡辺淳一著	無影燈	毎日新聞社
昭和49年 (1974)	1	リチャード・バック著 ／五木寛之訳	かもめのジョナサン	新潮社
	2	五島 勉著	ノストラダムスの大予言	祥伝社
	3	中村鉦一著	やせる健康食	ベストセラーズ
	4	花登 筐著	どてらい男 (全6冊)	徳間書店
	5	小峰 元著	アルキメデスは手を汚さない	講談社

6	あのねのね著	あのねのね	ベストセラーズ
7	山崎豊子著	華麗なる一族 (上・中・下)	新潮社
8	曾野綾子著	虚構の家	読売新聞社
9	W.P.ブラッティ著	エクソシスト	新潮社
10	T.K生著	韓国からの通信	岩波書店

3 昭和50年代

昭和55年12月「少年ジャンプ320万部発行、また、戦前戦後を通じて空前絶後と注目される超ベストセラー、トットちゃんこと黒柳徹子著の「窓ぎわのトットちゃん」は、昭和56年3月初版発行以来・1年半余りで550万余り(昭和57年10月現在)という大きな売れ行きを

示している。まさに場外大ホームランである。読者が購入した1冊を、友人、家族など回し読みの人数を仮に加えたならば、この本を読んだ人はゆうに1,000万~2,000万人に達することになるかもしれない。

また50年代後半は元NHKアナウンサー鈴木健二ブームでもあった。

昭和50年 (1975)	1	司馬遼太郎著	播磨灘物語 (上・中・下)	講談社
	2	有吉佐和子著	複合汚染 (上・下)	新潮社
	3	ハロルド著	眼がどんどんよくなる	青春出版社
	4	萩本欽一著	欽ドン 1・2	集英社
	5	ソルジェニーツィン著 ／木村浩訳	収容所列島 1・2	新潮社
	6	パーリッツ著	謎のバミューダ海域 (トクマックス)	徳間書店
	7	川上源太郎著	親の顔が見たい (ゴマックス)	ごま書房
	8	テイラー著	ブラック・ホール (フルックス)	講談社
	9	南条範夫著	元禄太平記 (前・後)	日本放送出版協会
	10	樋口清之著	梅干と日本刀 (フック)	祥伝社
昭和51年 (1976)	1	司馬遼太郎著	翔ぶが如く 1~7	文藝春秋
	2	村上 龍著	限りなく透明に近いブルー	講談社
	3	山崎豊子著	不毛地帯 1・2	新潮社
	4	檀 一雄著	火宅の人	新潮社
	5	深代惇郎著	深代惇郎の「天声人語」	朝日新聞社
	6	森崎和江著	からゆきさん	朝日新聞社
	7	御木徳近著	老春謳歌	芸術生活社
	8	五木寛之著	青春の門 (墮落編 上)	講談社
	9	萩本欽一著	欽ドン 1~4	集英社
	10	深田祐介著	新西洋事情	北洋社
昭和52年 (1977)	1	徳大寺有恒著	間違いだらけのクルマ選び (正・続)	草思社

	2	A.ヘイリー著 ／安岡章太郎他訳	ルーツ (上・下)	社会思想社
	3	池田満寿夫著	エーゲ海に捧ぐ	角川書店
	4	深代惇郎著	深代惇郎の「天声人語」(正・続)	朝日新聞社
	5	新田次郎著	八甲田山死の彷徨	新潮社
	6	円地文子他監修	人物日本の女性史 1～5	集英社
	7	白井吉見著	事故のてんまつ	筑摩書房
	8	五木寛之著	戒厳令の夜 (上・下)	新潮社
	9	丸谷才一著	文章読本	中央口論社
	10	野末陳平著	頭のいい銀行利用法	青春出版社
昭和53年 (1978)	1	有吉佐和子著	和宮様御留	講談社
	2	ガルブレイス著 ／都留重人監訳	不確実性の時代	TBSブリタニカ
	3	山崎豊子著	不毛地帯 1～4	新潮社
	4	中沢けい著	海を感じる時	講談社
	5	野末陳平著	頭のいい税金の本	青春出版社
	6	五味康祐著	五味手相教室	光文社
	7	城山三郎著	黄金の日日	新潮社
	8	御木徳近著	今を生きる	サンケイ出版
	9	広中平祐著	広中平祐の家庭教育論	講談社
	10	井上富雄著	ライフワークの見つけ方	主婦と生活社
昭和54年 (1979)	1	和泉宗章著	算命占星学入門	青春出版社
	2	和泉宗章著	天中殺入門	青春出版社
	3	五木寛之著	四季・奈津子	集英社
	4	長谷川町子著	サザエさん うちあけ話	姉妹社
	5	ヴォーゲル著 ／広中和歌子他訳	ジャパン アズ ナンバーワン	TBSブリタニカ
	6	松山千春著	足寄より	小学館
	7	見延典子著	もう頼づえはつかない	講談社
	8	N.マクワーター編 ／青木栄一訳	ギネスブック	講談社
	9	司馬遼太郎著	胡蝶の夢 1	新潮社
	10	阿川弘之著	米内光政 (上・下)	新潮社
昭和55年 (1980)	1	NHK取材班他著	シルクロード 1～4	日本放送出版協会
	2	司馬遼太郎著	項羽と劉邦 (上・中・下)	新潮社
	3	五島 勉著	ノストラダムスの大予言 2	祥伝社
	4	山口百恵著	蒼い時	集英社

	5	F.フォーサイス著 ／篠原 慎訳	悪魔の選択 (上・下)	角 川 書 店
	6	ツービート著	わっ毒ガスだ	ベストセラーズ
	7	桐山靖雄著	守護霊を持って	平 河 出 版 社
	8	ジェームス・クラベル著 ／綱淵謙錠監修	将軍 (上・中・下)	TBSブリタニカ
	9	カール・セーガン著 ／木村繁訳	コスモス (上・下)	朝 日 新 聞 社
	10	高橋三千綱著	こんな女と暮らしてみたい	青 春 出 版 社
昭和56年 (1981)	1	黒柳徹子著	窓ぎわのトットちゃん	講 談 社
	2	田中康夫著	なんとなくクリスタル	河 出 書 房 新 社
	3	馬場憲治著	アクション・カメラ術①②	KKベストセラーズ
	4	加山雄三著	この愛いつまでも	光 文 社
	5	青島幸男著	人間万事塞翁が丙午	新 潮 社
	6	井上ひさし著	私家版日本語文法	新 潮 社
	7	五島 勉著	ノストラダムスの大予言 III	祥 伝 社
	8	西田達弘著	子どもの鼻はママが治せる	二 見 書 房
	9	松本清張著	十万分の一の偶然	文 藝 春 秋
	10	吉行理恵著	小さな貴婦人	新 潮 社
昭和57年 (1982)	1	森村誠一著	悪魔の飽食 (カッパ・)	光 文 社
	2	江本孟紀著	抱腹絶倒 プロ野球を10倍楽しく見る方法 (フニ の本)	KKベストセラーズ
	3	黒柳徹子著	窓ぎわのトットちゃん	講 談 社
	4	井上ひさし著	吉里吉里人	新 潮 社
	5	鈴木健二著	気くばりのすすめ	講 談 社
	6	堺屋太一著	峠の群像 (上・中・下)	日本放送出版協会
	7	「写楽」編集部編	日本国憲法 (写 楽 フックス)	小 学 館
	8	穂積隆信著	積木くずし	桐 原 書 店
	9	神津カンナ著	親離れするとき読む本 (フレイ フックス)	青 春 出 版 社
	10	森村誠一著	続・悪魔の飽食 (カッパ・)	光 文 社
昭和58年 (1983)	1	鈴木健二著	気くばりのすすめ	講 談 社
	2	穂積隆信著	積木くずし	桐 原 書 店
	3	赤川次郎著	探偵物語	角 川 書 店
	4	渡辺淳一著	ひとひらの雪	文 藝 春 秋
	5	山崎豊子著	二つの祖国	新 潮 社
	6	和田アキ子著	和田アキ子だ文句あっか!	日 本 文 芸 社
	7	鈴木健二著	続 気くばりのすすめ	講 談 社
	8	松本清張著	迷走地図	新 潮 社

	9	ベンジャミン S. フランク著	老化は食べものが原因だった	青春出版社
	10	宇野千代著	生きていく私	毎日新聞社
昭和59年 (1984)	1	渡辺淳一著	愛のごとく	新潮社
	2	宮尾登美子著	天璋院篤姫	講談社
	3	中島みゆき著	伝われ愛	新潮社
	4	赤川次郎著	三毛猫ホームズのびっくり箱	光文社
	5	ホイチョイ, プロダクション著	見栄講座	小学館
	6	和田アキ子著	和田アキ子だ文句あっか!	日本文芸社
	7	F.フォーサイス著	第四の核	角川書店
	8	司馬遼太郎著	箱根の坂	講談社
	9	秦野 章著	何が権力か	講談社
	10	連城三紀彦著	恋文	新潮社
昭和60年 (1985)	1	広瀬久美子著	女の器量はことばしだい	リヨン社
	2	堺屋太一著	豊臣秀長	P H P 研究所
	3	L.アイアコッカ著	アイアコッカ	ダイヤモンド社
	4	池波正太郎著	真田太平記	朝日新聞社
	5	小松左京著	首都消失	徳間書店
	6	山口洋子著	演歌の虫	文藝春秋
	7	長門裕之著	洋子へ	データハウス
	8	神坂次郎著	元禄御畳奉行の日記	中央公論社
	9	ダン 池田著	芸能界本日も反省ノ色ナシ	はまの出版
	10	夕やけニャンニャン編	ぜ〜んぶおニャン子ネツ	扶桑社
昭和61年 (1986)	1	渡辺淳一著	化身	集英社
	2	細木数子著	自分を生かす相性殺す相性	祥伝社
	3	堺屋太一著	知価革命	P H P 研究所
	4	長谷川慶太郎著	日本はこう変わる	徳間書店
	5	うつみ宮土里著	うつみ宮土里のカチンカチン体操	扶桑社
	6	大前研一著	大前研一の新・国富論	講談社
	7	細木数子著	大殺界の乗りきり方	祥伝社
	8	阿川弘之著	井上成美	新潮社
	9	磯村尚徳他著	アメリカからの警告	日本放送出版協会
	10	林真理子著	最終便に間に合えば	文藝春秋
昭和62年 (1987)	1	俵 万智著	サラダ記念日	河出書房新社
	2	K.ウォード著	ビジネスマンの父より息子への30通の手紙	新潮社
	3	安部譲二著	塀の中の懲りない面々	文藝春秋

	4	石ノ森章太郎著	マンガ日本経済入門	日本経済新聞社
	5	村上春樹著	ノルウェイの森	講談社
	6	渡辺淳一著	別れぬ理由	新潮社
	7	安部譲二著	極道渡世の素敵なお面々	祥伝社
	8	盛田昭夫著	MADE IN JAPAN	朝日新聞社
	9	大前研一著	大前研一の新. 国富論	講談社
	10	安部譲二著	塀の中のプレイボール	講談社
昭和63年 (1988)	1	村上春樹著	ノルウェイの森	講談社
	2	川津祐介著	こんなにヤせていいかしら	青春出版社
	3	村上春樹著	ダンス. ダンス. ダンス	講談社
	4	池田大作著	私の人間学	読売新聞社
	5	沢地久枝著	雪はよごれていた	日本放送出版協会
	6	P.ケネディ著	大国の興亡	草思社
	7	石原まき子著	裕ちゃん 抱きしめたい	主婦と生活社
	8	江川 卓著	たかが江川されど江川	新潮社
	9	文藝春秋編	文藝春秋にみる昭和史	文藝春秋
	10	伊藤 栄樹著	人は死ねばゴミになる	新潮社

5 平成時代

平成2年のミリオン、セラー「愛される理由」も個性的ベストセラー、吉本ばなな現象など話題も豊富、また宮沢りえ写真集の話題

沸騰、とタレント本ブーム、政治経済、宗教書のブーム、中でもバブル崩壊も影響、エイズ、脳死、従軍慰安婦問題も話題に。

平成元年 (1989)	1	吉本ばなな著	TUGUMI	中央公論社
	2	吉本ばなな著	キッチン	福武書店
	3	津本陽著	天下は夢か	日本経済新聞社
	4	村上春樹著	ノルウェイの森	講談社
	5	井上靖著	孔子	新潮社
	6	吉本ばなな著	白河夜船	福武書店
	7	藤村由加著	人麻呂の暗号	新潮社
	8	吉本ばなな著	哀しい予感	角川書店
	9	栗良平著	栗良平作品2 一杯のかけそば	栗つこの会
	10	S.シェルダン著	時間の砂	アカデミー出版サービス
平成2年 (1990)	1	二谷友里恵著	愛される理由	朝日新聞社
	2	盛田昭夫, 石原慎太郎著	NOと言える日本	光文社
	3	渡辺淳一著	うたかえ	講談社
	4	井上靖著	孔子	新潮社
	5	柴門ふみ著	恋愛論	PHP研究所
	6	S.シェルダン著	真夜中は別の顔	アカデミー出版サービス
	7	酒見賢一著	後宮小説	新潮社
	8	石原慎太郎, 渡辺昇一他著	それでもNOと言える日本	光文社
	9	筒井康隆著	文学部唯野教授	岩波書店
	10	ビル・エモット著	日はまた沈む	草思社
平成3年 (1991)	1	さくらもも子著	もものかんづめ	集英社
	2	ビートたけし著	だから私は嫌われる	新潮社
	3	S.シェルダン著	真夜中は別の顔	アカデミー出版サービス
	4	陳舜臣著	諸葛孔明	中央公論社
	5	金賢姫著	いま女として	文藝春秋
	6	S.シェルダン著	血族	アカデミー出版サービス
	7	篠山紀信著	Santa Fe 宮沢りえ写真集	朝日出版社
	8	S.W.ホーキング著	ホーキングの最新宇宙論	日本放送出版協会
	9	小川洋子著	妊娠カレンダー	文藝春秋
	10	篠山紀信著	Water fruit 不測の事態	朝日出版社
平成4年 (1992)	1	さくらももこ著	さるのこしかけ	集英社

	2	それいけココロジ編	それいけココロジ	青春出版社
	3	井深 大著	わが友本田宗一郎	ごま書房
	4	S.シェルダン著	明け方の夢	アカデミー出版
	5	笑っていいとも編	タモリの、ダウンタウンも世紀末クイズ	扶桑社 発売
	6	それいけココロジ編	それいけココロジ	青春出版社
	7	村上春樹著	国境の南、太陽の西	講談社
	8	河合隼雄著	こころの処方箋	新潮社
	9	宮崎義一著	複合不況	中央公論社
	10	サム, ジアンカーナ著	アメリカを葬った男	光文社
平成5年 (1993)	1	R.J.ウォラー著	マディソン郡の橋	文藝春秋社
	2	東京サザエさん学会編	磯野家の謎	飛鳥新社
	3	十沢一郎著	日本改造計画	講談社
	4	中野孝次著	清貧の思想	草思社
	5	ユン, チアン著	ワイルド・スワン 上・下	講談社
	6	アーサン, ブロック著	マーフィーの法則	アスキー
	7	五木寛之著	生きるヒント	文化出版局
	8	さくらももこ著	たいのおかしら	集英社
	9	丸谷オ一著	女ざかり	文芸春秋
	10	S.シェルダン著	私は別人 上下	アカデミー出版

<参考文献>

- 1) 図書館用語辞典 角川書店 1982
- 2) 出版年鑑1964-1994 出版ニュース社
- 3) 出版事典 出版ニュース社 1971
- 4) 本の間答300選 出版ニュース社 1969
- 5) 実用百科本のガイド 実業之日本社 昭和42
- 6) 前園主計他 図書館資料論 東京書籍 1992
- 7) 図書館学演習資料前編 全国学校図書館協議会 1992
- 8) 平成元年10月27日 朝日新聞
- 9) 浴 靖子 ベストセラーと予約 図書館雑誌 vol.88.3 1993.3 p152-154

ベスト・セラーとの比較

ベスト・セラーで、かつ図書館でよく読まれている本	著 編 者	出 版 社	ベスト・セラー順位		
			'69	'70	'71
創価学会を斬る	藤原弘達	日新報道		5	
日本史探訪 (1)	NHK企画構成	角川書店			27
日本人とユダヤ人	ベンダサン	山本書店・角川書店		1・28	
スパルタ教育	石原慎太郎	光文社	19	4	
冠婚葬祭入門	塩月弥栄子	〃		1	
家事秘訣集	犬養智子	〃	15		
芝桜	有吉佐和子	新潮社		41	
青春の蹉跎	石川達三	〃	18		
開き過ぎた扉	〃	〃		42	
化石の森	石原慎太郎	〃		17	
天と地と	海音寺潮五郎	朝日新聞社	1		
さびしい王様	北 杜夫	新潮社	6	19	
月と10セント	〃	朝日新聞社			38
戦争と人間	五味川純平	三一書房		43	
坂の上の雲	司馬遼太郎	文藝春秋		23	
立ち尽す明日	柴田 翔	新潮社			9
赤頭巾ちゃん気をつけて	庄司 薫	中央公論社	3	24	
さよなら怪傑黒頭巾	〃	〃		38	
白鳥の歌なんか聞えない	〃	〃			17
生命ある限り	曾野綾子	読売新聞社		44	
二十歳の原点	高野悦子	新潮社			2
冬の旅	立原正秋	〃		7	
対論	野坂昭如・五木寛之	講談社			33
続・氷点	三浦綾子	朝日新聞社			12
春の雪 (豊饒の海 1)	三島由紀夫	新潮社	11	33	
超高層ホテル殺人事件	森村誠一	光文社	'69	'70	10・15・23*
ながい坂	山本周五郎	新潮社	13		
樅の木は残った	〃	新潮社・講談社		12・47	
軍旗はためく下に	結城昌治	中央公論社		36	
女人平家	吉屋信子	朝日新聞社			25
ラブ・ストーリー	E.シーガル	角川書店		1	

* 「よく読まれている本」のリストにあげられている4件の「春の坂道」はすべて巻次が不明であるが、「出版ニュース」のベスト・セラー表では各巻ごとにランクづけられているので、一応4件のうちに各巻が含まれているものとみなした。

(図問研東京支部『公共図書館における都民の図書要求』)

久保輝巳・森崎震二 図書館資料論〈新図学教育資料集成2〉

教育資料出版会 1989